

かけはし

〒669-2321

兵庫県篠山市黒岡5番地

TEL 079-552-1181 (代表)

FAX 079-552-5343 (代表)

《理念》

兵庫医科大学ささやま医療センターは、安全で質の高い医療を通じて、地域社会へ貢献するとともに、よき医療人を育成します。

《基本方針》

- 患者の立場に立ったチーム医療の実践
- 人間性豊かで、優れた医療人の育成
- 科学的な根拠に基づく医療の実践
- 健康増進活動による地域の保健・福祉の推進
- 地域の医療機関との円滑な連携

《患者さんの権利》

- 良質で安全な医療を平等に受けることができます。
- 病気や治療について、わかりやすく十分な説明を受けることができます。
- 診療内容をご自身で選択することができます。
- 診療内容について、他の医師の意見を聞くことができます。
- ご自身の診療情報を入手することができます。
- いかなる状況においても人間としての尊厳が守られます。
- プライバシーは常に保護・尊重されます。
- 患者さんの権利に関する「リスボン宣言」を尊重し、患者さん本位の医療を実現することができます。

◆ 私たちは在宅復帰をサポートします! ◆



兵庫医科大学ささやま医療センター 病院長
同 ささやま居宅サービスセンター センター長
太城力良

明けましておめでとうございます。皆さま方にとって本年も幸多い良い年でありますようお祈り申し上げます。

昨年に訪問看護ステーション、訪問介護ステーション、定期巡回・随時対応型介護看護事業所、居宅介護支援事業所からなる「ささやま居宅サービスセンター」を立ち上げました。そして、兵庫医科大学篠山キャンパスは医療センター、老人保健施設、居宅サービスセンターの3つの柱を持つことになり、急性期医療から回復期のリハビリテーション、福祉施設での療養・介護、住み慣れた地域での療養（訪問診療、訪問看護、訪問リハ、訪問介護）を総合的に提供し、円滑に病院→（老健）→在宅医療・介護へと移行し社会復帰していただくことをサポートできる体制にしました。また、老健入所時やご自宅での訪問看護・介護を行っている時に、病気の状態が悪くなればささやま医療センターへの入院を円滑に行い、地域包括ケアが可能になります。

地域に貢献し、地域に信頼される兵庫医科大学篠山キャンパスをめざし、教職員一同なお一層努力いたしますので、地域の皆さま方にはご支援のほど、よろしく願い申し上げます。

◆ クリスマスコンサート ◆

平成28年12月12日（月）、ささやま医療センター玄関ホールにて、患者サービスの一環として、患者さんやご家族へ「癒しの時間」を提供することを目的にクリスマスコンサートを開催しました。

今回は院内保育所の園児によるダンス、教職員家族によるちびっ子ピアノ演奏及び約30名で構成されたささやまシニアアンサンブル（シニア世代で構成された室内合奏団）による演奏など、盛りだくさんの内容でコンサートを行いました。クリスマスソングだけでなく、昭和の名曲や子供たちになじみのある曲なども演奏していただき、あらゆる年代の方々に楽しんでいただくことができました。

コンサートの終盤には、サンタクロースとトナカイの衣装を着た教職員によるプレゼントコーナーもあり、院内保育所の園児や入院患者さんも大変喜ばれていました。



◆ 環境省のあかり未来計画ホームページでささやま老人保健施設が紹介されました。 ◆

あかり未来計画とは、環境省及び経済産業省が推進する節電・温暖化対策のための高効率照明普及キャンペーンです。

ささやま老人保健施設は其中で「BELS（ベルス）」と呼ばれる建築物の省エネ性能を表示する第三者認証制度において、病院等ではじめて「BELS」最高ランクの5つ星を獲得しました。（平成28年7月11日付）

平成28年12月に館内すべての照明をLED化する等の省エネ化改修工事が終了し、改修前より消費電力が52%削減される見込みです。

<https://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/akari/archives/20160916.html>





◆列車事故お客様救護合同訓練◆



平成 28 年 11 月 25 日（金）、人命を最優先とした迅速かつ的確な初動対応ができるよう、対応能力の向上を図ることを目的に篠山口駅構内電留線内で行われた JR 西日本、篠山市役所、篠山警察署、篠山市消防本部等との合同訓練に参加しました。

当日は、「福知山線内の踏切で立往生していた大型トラックに、大阪発篠山口行きの快速電車が衝突し、停車。当該列車の乗客が多数負傷し車内に閉じ込められている。運輸指令を通じて現地乗務員より警察と消防の要請手配があり、各関係機関が現場到着後、乗り合わせた乗客の他、負傷者の救出・救護活動を実施する。」との想定のもと、緊迫した雰囲気の中で、訓練が実施されました。当院からは医師、研修医、看護師、薬剤師の計 6 名が参加し、重傷者の応急救護訓練を行いました。参加者からは、「声がしっかり出せており、真剣に訓練できた。」「多職種との連携面において、より意識的に情報収集できればよかった。」等の感想が聞かれました。

◆インフルエンザの予防と対策◆

毎年、秋から冬にかけてインフルエンザが流行します。原因となるインフルエンザウイルスをもらわないことや、周りにうつさないことが大切です。インフルエンザの感染を拡大させないために、一人ひとりが対策を行いましょう。

インフルエンザの予防

1. 予防接種を受けましょう
ワクチン効果が出るには 2~3 週間かかりますので、流行が始まる前に予防接種を受けましょう。
2. 外出後は手洗いを行いましょう
外出後は 30 秒以上かけて手洗いを行いましょう。アルコール消毒も効果がありますのでご使用ください。
3. 適度な湿度（50~60%）を保ちましょう
乾燥すると、鼻や喉の粘膜の防御機能が低下し、インフルエンザにかかりやすくなると言われています。



インフルエンザ対策

1. インフルエンザにかかったら
医療機関を受診し、適切な治療と休息をとりましょう。周りに拡大させないために咳エチケットを行いましょう。
2. 咳エチケット
咳やくしゃみをする際は、口や鼻をハンカチ等で覆うかマスクを装着しましょう。マスクは鼻、口を覆い、正しく着用しましょう。
3. インフルエンザは 2 回、3 回かかるの？
インフルエンザは A 型と B 型があり、その中でも様々な種類があるため、1 度かかったから次はかからないということはありません。



◆ノロウイルスなどによる感染性腸炎の予防と対策について◆

ノロウイルスなどによる感染性腸炎が今シーズンは全国的に猛威を振るっています。小児から高齢者まで幅広く感染し、長期免疫を持たないため何度も感染します。そのため、インフルエンザと同様にもらわない、拡げない対策を行うことが重要です。

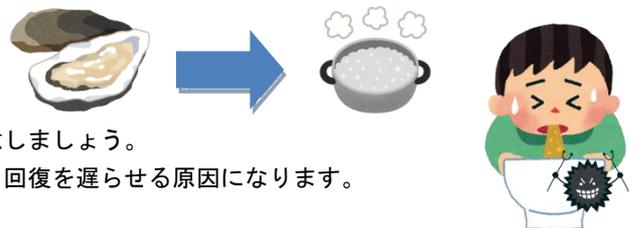
感染性腸炎の予防（主にノロウイルス）

1. こまめな手洗いを行いましょう
アルコール消毒は効果が低いとされていますので、石けんと水道での手洗いを行いましょう。
2. 加熱調理を十分に行いましょう
ノロウイルスは熱にも強いので、85℃以上で 1 分以上の加熱を必要とします。
牡蠣などの 2 枚貝を食べる際は、しっかり加熱しましょう。



感染性腸炎の対策（主にノロウイルス）

1. かかってしまったら
乳幼児や高齢者は脱水症状になりやすいため、水分補給に注意しましょう。
下痢止め薬を使用するとウイルスが体から出ていけないため、回復を遅らせる原因になります。
2. 家族がかかってしまったら
嘔吐物や排泄物には大量のノロウイルスが含まれていますので、片づける際は手袋やマスクを使用しましょう。咳やくしゃみをする際は口や鼻をハンカチ等で覆うかマスクを装着しましょう。マスクは鼻、口を覆い、正しく着用しましょう。
ノロウイルスはアルコール消毒の効果が低いため、市販の塩素系漂白剤を水で薄めた調整液で嘔吐物や環境を消毒します。



市販されている 5~6%の濃度の漂白剤を使用した場合の水と漂白剤の割合

水の量	1L	3L	5L	10L
塩素系漂白剤	33ml	100ml	170ml	350ml

※経時的に濃度が低下しますので、ある程度期間が過ぎたものは調整しなおしてください。

塩素系漂白剤の調整液は、漂白作用があるため脱色される可能性があります。